



伊江島 広報

No.438

平成28年 5月号



伊江島イメージキャラクター
タッチゅん

伊江島

伊江村多目的屋内運動場落成式



伊江村多目的屋内運動場の完成にともなう落成式が、4月27日に同屋内運動場で開かれました。

平成26年度から平成27年度にかけて内閣府の沖縄北部連携促進特別振興事業費を充て、スポーツ備品や事務備品などは特定防衛施設周辺整備調整交付金を用い整備を進め3月31日に事業完了し落成式の運びとなりました。

伊江村多目的屋内運動場は延床面積4164.51㎡と広い施設となっており、ゲートボールやテニス、フットサル及び野球練習など様々なスポーツを行うことができます。

完成に先立ち、4月19日には、「第7回島ゆり観光ゲートボール伊江島大会」が行われ、村内の老人会チームをはじめ村外からの参加チーム約150人でプレオープンとして白熱した大会となりました。

伊江村多目的屋内運動場の完成によって、村民の健康増進はもちろんのこと、観光振興をはじめ、地域産業への波及効果や雇用拡大等、村民も地域も元気になれる施設として活用されることが期待されます。

村の世帯数と人口の比較 (4月30日現在)					4月の 出生児数
	昭和51年 (40年前)	平成8年 (20年前)	平成28年	先月比	
世帯数	1,499	1,975	2,220	1	4
総人口	6,035	5,487	4,686	- 6	
男	2,924	2,714	2,379	1	
女	3,111	2,773	2,307	- 7	



平成28年度 施政方針 後半

(6) 医療保健の充実について

医療の充実、村民が安心安全にこの島での定住する上で最も基本的な条件であり、本村は昭和35年に村立診療所開設以来堅持している「医療の確保」を優先施策として進めてまいりました。この観点から、開設の透析センターも「安全で質の高い透析医療」の提供により利用者の負担軽減と、旅行透析・帰省透析の受入れで、安心して故郷へ帰省できる医療体制が図られました。

離島診療所ゆえに十分に対応できていない漢方外来、眼科、耳鼻咽喉科等の専門科目診療の回数増を図るとともに新たな専門科目の診療実施に取り組み村民の利便性向上に努めます。

診療所の安定的持続的な運営には、医師の確保は言うまでもありません。琉球大学の地域枠設置による医師派遣制度の創設など環境は多少好転していますが、村独自の県内外医療機関から研修医受入事業の積極的実施や医師の良好な労働環境の形成など診療所の信頼・評価を高めつつ今後もその確保に努めます。

なお、運営費へは、特定防衛施設調整交付基金を活用し繰入している現状であります。今後とも繰入金削減と透析センターを含めた診療所経営の健全化に努めてまいります。

歯科診療では、歯科用X線デジタルシステム他、歯科用医療器材の整備を図り高度化、多様化する歯科医療に対応してまいります。

また、今年度、職員及び来客者の利便性を図る為、アスファルト

舗装による駐車台数40台の駐車場整備を行います。

次に、保健部門では、病気を未然に防ぐ為の基本的取り組みとして住民健診、各種検診の受診率の向上に努めます。併せて、生活習慣の改善、生活環境の改善、健康教育、健康相談、運動教室等による村民の健康増進を図ります。

また、村の重要な健康課題である「アルコール問題」を村民全体の意識改革を目指し、日頃から地域との連携や情報の共有に努め、要支援者の早期把握や早期介入に向けた体制づくりや「こころの相談」など専門的相談を受ける機会の充実・強化を図ります。

母子保健では、妊娠、出産、子育てに関する各種助成を継続的に実施します。平成28年度は、現行の子育て支援金を大幅に増額改定し第1子5万円を20万円、第2子10万円を30万円、第3子以降20万円を第3子50万円、第4子80万円、第5子以降100万円までに拡充し子育てを厚く支援し安心して子育て環境の創出を図ります。

他に、村民福祉の向上と健康増進に向けた取り組みとして現在実施している「インフルエンザ予防接種」の無料化、「子ども医療費助成」「不妊治療費助成」「妊婦健診・出産宿泊助成」等の各事業を継続実施するとともに、疾病予防や健康増進の基となる住民健診の受診率の向上に努め健康教育、健康相談の充実を図ります。

歯科保健においては、幼児期・学童期の「フッ化物洗口」の実施を引き続き村の歯科保健事業として各学校・歯科医院の協力・支援

のもと積極的に推進します。元気で明るく豊かな村づくりは、住民の健康の上に成り立つことを念頭に今年度も引き続き村民の健康増進を強力に推進してまいります。

(7) 保険制度の充実及び自主財源の確保について

村民のニーズが多様化・複雑化するなかで、行政の機能的・効率的な財政運営を図るためには、自主財源の確保が不可欠です。税負担の公平性と自主財源の確保のため、賦課の適正化と徴収の強化を図り徴収率の向上に努めます。

また、平成27年度から導入のコンビニエンスストア収納では、全体の22%（口座振替60%、その他金融機関18%）を占め、納付窓口と納付時間帯の拡大により利便性が高まり、期限内納付率の向上が図られました。今年度は、住民税の特別徴収の全市町村一斉指定に向け沖繩県と連携、共同で取り組めます。

国民健康保険制度については、医療技術の高度化による医療費の増加や、被保険者の経済状況に起因する負担能力の低下などにより、制度を取巻く環境は依然厳しい状況が続いています。

国民健康保険は、村民の健康・生命を守り、生活を支える最後の砦とも言える制度で重要な役割を果たしてまいります。しかしながら、国民健康保険は独自財源のみでの運営が難しく、不足財源を一般会計に依存する厳しい財政運営を行っております。今後とも、自主財源の確保に向けた徴収率の向

上及び特定健診及び保健指導の実施率の向上、レセプト点検の充実強化などの医療費適正化により医療費の抑制を図り、国民健康保険事業の安定運営に努めてまいります。

(8) 生活環境の整備について

後期高齢者医療制度については、高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で生き生きと安心して生活できる医療の確保と必要な健康管理指導の支援を行い広域連合と提携し制度の円滑な運営と安定的な財政運営に努めてまいります。

国民年金制度については、引き続き国の動向に注視し、制度改正等が行われる際には、村民への情報提供に努め適切に対応し、保険料の未納者解消や納付相談等により無年金者対策に努めてまいります。

離島の豊かな自然環境の中、快適で潤いのある活気に満ちた生活を過ごし、島の自然を満喫できる環境は、住民のみならず、観光誘客にも大きく寄与するものであり、今後とも、地域や関係団体と連

携し自然と親しみ住み良い生活環境の形成に取り組んでいきます。

家庭・事業所からの排出ゴミの正しい分別方法及び出し方の徹底を図りごみの抑制に努めるとともに、循環型社会の形成を目指しペットボトル等の再利用・家電リサイクル製品の回収事業に取り組みます。

引き続き、ごみの不法投棄には警察と連携のもと厳正に対処しゼロを目指し取り組みます。

また、増加傾向にある建設廃棄物や農業資材等の産業廃棄物については、村の産業廃棄物処理施設で処理していますが、産業廃棄物処理施設やスリカ処理場の延命化を図る観点から、島外搬出・場内破碎等の活用等を調査研究し、両施設とE&Cセンターの、健全な維持運営に努めます。

海を漂流し村内海岸に漂着するゴミは、島の海岸や砂浜の景観を損ねており、継続的に海岸漂着物回収作業を実施し、住民の環境への認識度の向上及び児童生徒が海浜等の自然を体感することで自然保護と環境問題について学習できる場を提供していきます。

夜間時の安心・安全歩行の確保とCO2削減で環境に資する既設外灯をLED照明灯に取り換える明るい村づくり事業と、ハブの捕獲や生息地を除去するハブ対策事業を継続実施します。

快適な生活環境の維持・向上と公共用水域の水質保全を図る観点から公共下水道施設整備は必要と考えています。しかしながら、その整備には施設の必要性や効果について、情報を提供し村民の十

分な理解が不可欠であり、加えて多様なニーズを反映させることも必要と考えます。今後は、合併浄化槽の普及も図りながら、具体的な調査・研究に向けて各関係機関と連携し環境施策に取り組んでまいります。

村民の生活・福祉の向上及び産業振興の基盤となる村道・農道などの整備は、重要な施策として考え、社会資本整備事業による城山登山道改良舗装整備を始め、村道改良整備を実施するとともに、各区から要請のある村道・農道維持補修整備や交通安全施設整備を引き続き実施し、村民の快適な生活環境づくりに取り組んでいきます。

又、今後の道路整備計画では、歩行者や自転車の交通安全確保は当然として、観光客等来訪者にも配慮した道路風景や地域の特徴を生かした道路景観づくりも大切であり、地域や各関係機関と連携し道路整備基本構想の策定に向け検討してまいります。

村の住宅施策の推進は、「伊江村第4次基本計画」・「伊江村住生活基本計画」に基づき、村民が安心して暮らせる居住環境を目指し、新しい村営住宅の建設に向け、(仮称)城山第二団地の設計に着手する予定です。

村営団地の管理運営については、各団地の長寿命化と良好な居住環境の充実、入居者との連携を図り健全な村営団地の運営に向けて取り組んでいきます。

また、「伊江村人口ビジョン・総合戦略推進計画」を踏まえた定住促進住宅については今後検討を

重ねてまいります。

昨年度から実施した住宅リフォーム支援事業は村民の感心が高く当初計画を上回る需要と効果があったことから、今年度も引き続き実施してまいります。

(9) 防災行政の推進について

村民の生命・財産を守る「防災行政」については、伊江村地域防災計画に基づき、村民が安心・安全に生活できるよう防災力の強化を図るとともに、自主防災組織の結成や育成に努め、消防団及び各区、各種団体等と連携を図りながら「地震・津波避難訓練」「火災避難訓練」を計画的に実施し、防災意識の啓発と向上を図ってまいります。

昨年度は、救急患者搬送船「みらい」の運用開始と県内36市町村が加入する「沖繩県消防共同指令センター」及び「消防救急デジタール無線」が整備され、今年度から本格運用となります。

平成27年度における救急患者搬送船出動実績は、1月末で24件、消防共同指令センターにおいては、13件余の通報があり、消防団員や役場、診療所への情報伝達が迅速になり、より安全安心に生活ができるよう緊急出動の事案に対応してまいります。

今後は、複雑多様化する災害や各種救急時の初動体制を迅速化・体系化させ、救命率の向上につなげるとともに、様々な機会を通して訓練を実施し引き続き村民や観光客等への周知に努めてまいります。

また、「全国瞬時警報システム

J・A・L・E・R・T」など大規模地震や大津波等の緊急事態に、住民に迅速に情報を伝達する「防災行政無線」の効率的運用と保守点検を適切に行い、防災行政の充実を図るとともに、デジタル無線への移行も検討し、防災行政の充実を図ってまいります。

(10) 情報通信基盤の整備と情報サービスの推進について

村民向け行政情報の充実を図るとともに、村外入客者の満足度を高めるため、観光情報の発信及び迅速な防災減災の情報共有できるように、ホームページの強化拡充事業を随時進めてまいりました。

平成27年度においては、伊江・本部両港への「切符券売機」の設置、車両航送予約システム、離島航送割引システムとホームページの連携を行いました。切符券売機は表示が多言語化され、現金だけでなく電子マネーやクレジットカードの利用が可能となり、外国人観光客をはじめ村外入客者の利便性の向上が期待されます。

また平成26年度に整備した「ユビキタスネット」を有効に活用できるように、地方創生事業により民泊受け入れ家庭、観光業者向けのWIMAX通信料助成制度を導入し、今年度においても引き続き利用普及に努めてまいります。

「社会保障番号制度」に関連し、個人情報流出を防ぐための更なる強靱化が求められていることから、業務用ネットワークとインターネット環境の分離等、必要な対策を講じるとともに、県が構築する自治体情報セキュリティク

ラウドへの参加等、村民等が安心できる高度なセキュリティ対策の構築を図ってまいります。

(11) 再生可能エネルギーの推進について

国においては、今年度に地球温暖化対策計画を策定し、国民各界各層が一丸となって地球温暖化対策に取り組むため、国民運動を強化し、地方公共団体、産業界、NPO等の多様な主体が連携しつつ、情報発信、意識改革、行動喚起を進めることとしております。

本村にできることは小さなことかもしれませんが、温室効果ガスの排出量を抑制し、地球温暖化防止に貢献できるよう取り組んでいきたいと考えております。

これまで、伊江島スマートアイランド構築調査、農村再生可能エネルギー利用促進基本計画を策定し、将来の事業展開の方向性について検討してまいりました。その実現に向けた事業構築の促進に努めてまいります。

住宅用太陽光発電導入支援事業については、省令改正に伴い、出力抑制や遠隔出力抑制システムの設置の義務化による影響等を見極めながら、太陽光発電助成に取り組みたいと考えております。

また、引き続き、公共施設の太陽光発電施設、蓄電池施設整備やLED照明等の省エネ機器への移行の促進を図ってまいります。

さらに、産学連携による再生可能エネルギー等の提案事業への支援及び、電気自動車等の普及拡大に向けた充電インフラ整備の調査研

究に努め、環境負荷の低減、自然環境に優しい環境共生の島づくりの推進に取り組んでいきたいと考えております。

(12) 基地行政について

去る1月27日の米軍揚陸艇が訓練物資輸送のために伊江港を使用した際に、定期便フェリーの出航が遅滞する事態が発生したことは、誠に遺憾であり、沖縄県軍用地転用・基地問題協議会に米軍日本政府に対し、揚陸艇の港湾使用の自粛を要請するよう申し入れております。今後とも、米軍揚陸艇の伊江港湾施設の使用の自粛を強く求めてまいります。

伊江島補助飛行場のLHDデッキ等の改修計画においては、具体的説明を果たさずに、なし崩し的に計画が実施されることは看過できるものではなく、沖縄防衛局には、米軍に対してLHDデッキ等改修工事の中止を申し入れるよう要請しております。引き続き、情報収集に努めるとともに、今後の動向を注視しながら、騒音等の基地負担の増大にならないよう関係機関に適切な対応を求めてまいります。

また、MV・22オスプレイの配備計画の見直し、訓練移転の着実な推進、日米合同委員会合意事項の飛行運用の徹底的な厳守とオスプレイの人体及び環境に及ぼす影響調査の要請及び、CV・22オスプレイの訓練により基地負担が増大することがないように、沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会と連携を図りながら関係機関に強く求めてまいります。

コーラル滑走路の粉塵対策については、粉塵抑制スプリンクラー設備整備事業が、平成28年度上半期に完成予定であり、飛散防止対策が講じられることは、地域住民の生活環境や農産物への粉塵被害の軽減が図られるものと期待しておりますが、粉塵飛散がないよう、その運用と効果について引き続き調査確認をいたします。

植栽事業については、演習場内の植林帯が塩害等による枯死木が多く、遮音機能、粉塵飛散防止機能等の効果低下が懸念されることから、国に対して植栽事業の実施を求めてきました。昨年度から沖縄防衛局において、樹種選定試験調査を実施しておりますが、植栽事業の更なる加速化に向けて取り組んでまいります。

騒音問題については、集落上空を飛行しないよう飛行経路の徹底的な厳守を求めるとともに、騒音状況に悪化が認められた場合は、あらゆる機会を通じて住宅防音工事区域指定及び騒音の負担軽減について必要な措置を講じるよう関係機関に要請してまいります。

分遣隊移設に伴い真謝区から要望のありました訓練時の大型車両の集落内を通過しない走行ルートについては、米軍と協議を重ねてきました。米軍飛行場から分遣隊施設内を通過し、ヤー原東西線(ダキヤマ)を走行する迂回ルートが海兵隊と合意に至っております。今後も適切な運用が図られるよう継続的な確認協議を行ってまいります。

伊江島灯台及び慰霊碑への立入りについては、米軍、沖縄防衛局、コーラル滑走路の粉塵対策については、粉塵抑制スプリンクラー設備整備事業が、平成28年度上半期に完成予定であり、飛散防止対策が講じられることは、地域住民の生活環境や農産物への粉塵被害の軽減が図られるものと期待しておりますが、粉塵飛散がないよう、その運用と効果について引き続き調査確認をいたします。

(15) 予算概要について

安倍政権の推し進める成長戦略、いわゆる「アベノミクス」により「企業収益や雇用環境の改善」など効果は見られるものの、中国経済への懸念や米国の利上げ観測の影響から世界の金融市場が動揺し、景気悪化への懸念が強まっています。

こうしたなかで政府は、経済の好循環の更なる拡大とデフレ脱却を確かなものとするため、平成27年度補正予算の迅速な実施と28年度予算の早期成立を目指すと共に、日銀においても「ゼロ金利導入」によりデフレ脱却への強い意欲を示しています。

また、就任から1年余りが経過した翁長雄志知事は、県政運営方針の中で「離島力の向上」にふれ、港湾・空港施設の機能向上など社会基盤整備をはじめ、離島航路・航空路の交通コスト軽減や安定した保健医療サービスの提供など、引き続き離島の定住条件の整備に努めるとしており、その政治手腕に大いに期待したいと思えます。

本村における平成28年度の主な事業は、先ずまちづくり支援事業の伊江村総合運動場公園(野球場)整備事業や沖縄振興特別推進交付金事業の世界のイメージマンチュ交流招聘事業、観光客誘客環境整備事業、伊江村漁業振興事業等を計画しております。その他の事業として、漁村再生交付金事業(西崎漁港)、社会資本整備総合交付金事業、団体営農地保全整備事業、地方創生戦略支援事業等があり、本村の一般会計予算は、56億2百万円で対前年度比

村の三者で協議調整を行っているところであり、早期に村民、観光客の立入りが可能になるよう取り組んでまいります。

(13) 公営企業の充実について

船舶運航事業は、平成27年もフェリー2船運航体制のもと、安全運航を最優先に無事故で事業を行う事ができました。近年の船舶事業は、旅客需要の多様化に伴いバリアフリー化や横揺防止、振動防止などの設備・能力はもとより船舶の大型化が求められております。

就航から24年を迎える「すくく」は、老朽化が見られ、村民の安定的な足の確保には不十分であることから代船建造が喫緊の課題であると考えております。

代船建造を進展させるため、沖縄振興特別推進交付金を原資とした「離島航路運航安定化支援事業」の活用による代船建造に向けて、県も参画した代船建造委員会です。今後関係機関と連携を図りながら一日も早い代船建造に努めます。

又、沖縄振興特別推進交付金事業で、村民の交通コストの低減を図るため、自動車航送コスト負担軽減事業を引き続き実施すると共に、新たにフェリー乗船券購入時の効率化を図る目的で、現在運用している離島割引券システムモデ

ル事業と併せて伊江村H.P.サービスクラス拡充化事業で券売機を設置し運用を開始致します。

本年も、船舶運航事業を取り巻く社会情勢を見極めより一層の安全運航に努め、旅客サービスの向上に徹し、本村の観光振興と産業発展、住民生活の向上を図るため努力してまいります。

次に、水道事業は、ご承知のとおり本村は、河川もなく、湧水にも乏しく、自己水源の確保は天候に大きく左右されるなど県企業局からの受水に頼らざるを得ない現状にあります。又、全国的な課題である施設の老朽化による維持・更新費用の増大は本村も同様であり、水道事業の運営は大変厳しい状況にあります。

平成28年度も、自己水源の有効活用を努め、漏水の早期発見のために調査を行い、同時に村民並びに利用者皆様の生活保持に関わる老朽管改修工事や、古いメーター機器の取り換え等、補助事業を活用し順次着工出来るよう努めてまいります。

今後、水道事業の果たす使命を十分認識し、生活用水の「安心・安全」を第一に考え健全運営に努めます。

(14) 国営・県営事業について

国営かんがい排水事業の「国営地下ダム事業」はいよいよ今年度工事完工・事業完了を迎えることとなります。13年の歳月にわたり、地下ダム事業の円滑な推進にご尽力を頂きました農林省・内閣府・沖縄総合事務局・土地改良総合事務所そして出先機関の伊江農

業水利事業所に農家をはじめ村民並びに多くの関係者とともに心から感謝を申し上げるしだいであり、今後は、確実な地下ダム機能の確保と事業完了後の円滑な施設の運用を担う土地改良区の設立作業を加速させ早目の設立を目指します。合わせて、関連事業のかんがい排水事業の県営・団体営事業の早期整備を図り、多くの圃場でかん水が出来、事業効果の発現・恩恵が受けられるよう今後とも精力的に国・県に要請を行ってまいります。

県営農地保全整備事業は、川平第2地区が、平成22年度の事業開始から6年目を迎えます。本事業により自然災害から農作物、農地及び農業施設への被害の未然防止でき農村環境美化の向上が図られることから、今後とも県と連携を図り、新規地区の検討も含め積極的に要請してまいります。

県営治山事業も継続的に活用し、これまでの植栽箇所保育及び北海道を中心とした新規植栽箇所を重点に、今後とも、積極的に要請を行います。

農林水産業の生産性向上と近代化を図るため、国営・県営事業での基盤整備事業の更なる充実と着実な実施に向けて今後とも要請してまいります。

伊江港の港内うねり対策は、これまで沖縄県が実施した海流調査の結果を踏まえ、第1回静穏度向上対策検討会議において平成28年度に国の補助事業を活用し取り組むとされており早期の事業着手に向け関係機関に要請してまいります。

そして、村民皆様の産業、スポーツ、学習・文化をはじめとする各分野における活躍は目覚しく新聞等での掲載も数多くあり、我が伊江村が元氣な活気に溢れた村として県内外から評価も高いことは大変喜ばしく嬉しい限りであります。

今年度も、この勢いを持続・発展させ更なる飛躍を目指し村民一丸となり健康で明るく「互いに支えあい豊かな気持ちで暮らし続けられる村」づくりを中年にちなみより良きものを求める「変革の精神」とともに前進してまいります。

結びに、健康が全ての源泉であります。村民皆様の健康こそが村の躍進の原動力であり、何より大切なものであります。村民皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げ、今後の村政運営に議員各位並びに村民皆様、関係各位の深いご理解とご協力、ご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年3月8日
伊江村長 島袋秀幸

Table with 4 columns: 国営, 県営, 事業名, 内容. Includes items like '国営かんがい排水事業' and '伊江東部地区'.

本部港の立体駐車場建設では、これまで本部町と歩調を合わせ早期整備に向け取り組んでまいりましたが県の予算調整において平成28年度「ゼロ査定」になったことは、大変残念ですが、更に本部町と連携し早期整備に向け精力的に関係機関に要請活動を行ってまいります。

4. 終わりに

我が国は、世界に例のない急速な人口減少、少子高齢化が進行しており、年金、医療、介護をはじめとする持続可能な社会保障制度の確立が急務であります。合わせて現在国の人口減少を抑え、活性化し地方の人口減少を抑え、維持増大を目指す地方創生は喫緊の課題であります。

更には、市町村を取り巻く現状は、人口減少対策と地方創生、道州制の問題、法人税減税による地方財政への影響、国保制度改革及び少子化等々、課題が山積であります。



第24回 伊江島一周マラソン大会成績表 ※成績は1位のみ

種目別	氏名	タイム	出身地
ハーフ			
一般	男 渡久地 政海	1:15:00	千葉県
	女 安里 真梨子	1:29:58	豊見城市
30代	男 喜友名 俊二	1:17:11	うるま市
	女 村田 夏希	1:27:57	浦添市
40代	男 波平 昌司	1:20:47	沖縄市
	女 大内 由紀	1:48:56	恩納村
50代	男 勝連 三也	1:27:38	うるま市
	女 小林 玲子	1:51:53	那覇市
60代	男 加藤 益夫	1:42:37	広島県
	女 金城 文子	1:57:30	名護市
70代以上	男 池村 泰明	1:57:50	石垣市
	女 喜屋武 きく子	2:23:45	沖縄市
1.0 km			
高校生	男 伊山 翔稀	0:45:43	宜野湾市
	女 新井 瑠夏	1:02:48	浦添市
一般	男 野底 大輔	0:38:20	糸満市
	女 仲井間 ちひろ	0:42:30	宜野湾市
30代	男 大城 絢也	0:37:16	渡嘉敷村
	女 座喜味 美和子	0:45:25	うるま市
40代	男 古堅 幸太	0:38:29	国頭村
	女 守屋 政江	0:50:01	読谷村
50代	男 喜友名 清秀	0:40:11	読谷村
	女 宇江城 竹美	0:50:23	宜野湾市
60代	男 宜寿次 政文	0:45:41	名護市
	女 新垣 美津子	0:58:52	うるま市
70代以上	男 比嘉 仁徳	0:56:33	那覇市
	女 高橋 久子	1:14:03	埼玉県
5 km			
高校生	男 山城 広大	0:15:58	沖縄市
	女 清水 彩音	0:17:19	長野県
一般	男 比嘉 和昌	0:18:04	恩納村
	女 喜屋武 悠香里	0:27:12	うるま市
30代	男 名城 義之	0:17:41	恩納村
	女 山元 愛	0:22:13	福岡県
40代	男 金城 守	0:17:09	金武町
	女 島袋 香	0:23:44	中城村
50代	男 安里 永	0:20:54	本部町
	女 具志堅 裕子	0:23:43	本部町
60代	男 藤井 廣司	0:20:59	京都府
	女 喜屋武 宏子	0:31:51	名護市
70代以上	男 當山 清勝	0:23:28	南城市
	女 該当者なし		
3 km			
小学生	男 池間 凜斗	0:10:52	八重瀬町
	女 金城 怜海	0:11:33	今帰仁村
中学生	男 島袋 大夢	0:10:05	伊江村
	女 仲 愛琳	0:10:50	北谷町
高校生	男 該当者なし		
	女 村上 愛華	0:10:28	長野県
一般	男 石嶺 真琴	0:11:59	うるま市
	女 城間 絵里加	0:15:19	うるま市
30代	男 比嘉 茂人	0:10:25	名護市
	女 山里 菜実	0:17:11	伊江村
40代	男 饒波 正知	0:11:36	国頭村
	女 新城 千春	0:14:14	伊江村
50代	男 杉崎 和彦	0:10:50	神奈川県
	女 杉崎 百合子	0:14:28	神奈川県
60代	男 藤井 廣司	0:11:50	京都府
	女 久林 和美	0:17:11	うるま市
70代以上	男 山城 真助	0:18:09	うるま市
	女 屋我 三子	0:25:25	西原町



ハーフの部が一齐にスタート



ハーフ女子優勝の村田夏希さん

ハーフ男子優勝の渡久地政海さん

3km優勝の島袋大夢さん

皆でワイワイ! かんぱーい!



フィナーレのカチャーシー

伊江島一周マラソン大会

第24回

第24回伊江島一周マラソン大会が4月9日、ミースイ公園を発着点に開催されました。ハーフの部で、男子は渡久地政海(千葉県)が1時間15分で優勝し、女子は村田夏希(浦添市)が1時間27分57秒で3連覇を成し遂げました。また、3kmの部では、島袋大夢(伊江中3年生)が10分05秒で初優勝を飾りました。

今大会は、4部門に2,424人の応募がありました。当日の午前中は大雨が降りマラソン参加者に影響があるかと懸念されておりましたが、スタート時点では天気も晴れ、県内外から2,167人のランナーがエントリーし、1,954人が完走しました。(完走率90.2%)

ふれあいパーティではRyutyがフィナーレを飾り、来年の再会を誓い合いました。

今大会を開催するにあたり、特別協賛企業をはじめ、関係団体やボランティアの皆さまのご支援ご協力を賜り感謝いたします。



本部港でフェリーに乗り込む選手たち



伊江港到着後受付を終えた皆さん



ナンバーカード交付受付メンバーも準備万端



ナンバーカード交付で混み合う会場



職場の仲間達と参加した伊江農業水利事業所の皆さん



勢いよく駆け抜けていく3kmの選手



生年祝いを迎える伊江中37期生



島袋美也子さんと山川一貴くんが選手宣誓を務めました!

三線と踊りで選手を後押し



生年祝いを迎える伊江中40期生



ゴールまでもう少し! 皆でゴールしました

第21回 伊江島ゆり祭り

祭り期間中、本島から約30,000人のお客様が来場しました！

百万輪のテッポウユリと90品種の世界のユリが咲き誇る第21回伊江島ゆり祭りが4月23日から5月5日まで、リリーフィールド公園で開催されました。

平成8年に同公園を整備してスタートしたゆり祭りも今回で21回目を迎え、多くの来場者で賑わうイベントとして定着しました。

期間中は多彩なステージイベントで会場を盛り上げ、乗馬体験も人気を集めました。祭り期間中は天候にも恵まれ、真っ白なユリのじゅうたんが一面に広がり、来場者は記念撮影や周囲に漂う香りを楽しんでいました。

開催にあたり、ご協力いただきました関係者をはじめ、ご来場いただきました皆さまに対し、この場をおかりしてお礼を申し上げます。



テップカットし、ゆり祭りのスタート！



エイサーを披露してくれた保育園児たち



司会を務めた名嘉真花梨さん(左)と島袋八海さん(右)



熊本地震への義援金募金活動も行いました



皆の人気者！タッチゅんと記念撮影



「伊江島産もずく」のつかみ取りに挑戦



伊江中吹奏楽部による演奏



乗馬体験楽しい～！



盛り上がったちびっ子相撲大会



Ui Ohana伊江島サークル



伊江村民俗芸能保存会の皆さんによる三線を披露



民俗芸能を披露する児童たち

第21回ゆり祭りイベント結果

第21回ゆり祭り期間中に開催された各イベントの結果は次の通りです。(敬省略)

●第15回伊江島ゆり祭りゴルフ大会
(4月16日～23日伊江島カントリークラブ)

【一般の部】

優勝 ベストクロス 知念 彰

兼謝名 誠

【シニアの部】

優勝 ベストクロス 照屋 吉彦

宮里 徳成

【グランドシニアの部】

優勝 ベストクロス 浦崎 直幸

市野 範児

【女性の部】

優勝 ベストクロス 山城 初美

宮城 千代美

●職場対抗カラオケ大会

優勝 伊江中学校教員

【優勝のみ】

●第3回ゆり祭り杯ちびっこ相撲大会

【優勝のみ】

【幼稚園の部】 工藤 大翔(西)

【1年生の部】 玉城 鳳真(名護)

【2年生の部】 玉城 春翔(名護)

【3年生の部】 八巻 勇杜(伊江)

【4年生の部】 眞榮里 優翔(てだこ)

【5年生の部】 伊良部 誠士(てだこ)

【6年生の部】 新田 将太(てだこ)

【団体戦・低学年の部】 西小B

【団体戦・高学年の部】 てだこA



木幡直希さん



職場対抗でカラオケで優勝した伊江中教員



知念こずえさん



たまんちゅ



クラウン・コトラ



大城友弥さんと謝花美雪さん



ラジオ沖縄公開生放送



知念初美民謡教室の皆さん



Ryuty



島袋ちょうせいさんとバンドメンバー



北山高校ハワイアンフラ部
プア・ケニケニ



名嘉元武光さん



山川まゆみ島うた少女テンの皆さん



タッチゅんのタンカ祝い！



Don't STOP



Sky's The Limit



島ゆり太鼓の皆さん



Lucky4clover

平成28年度 就学援助制度のお知らせ

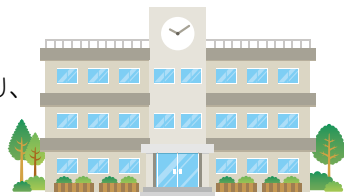
教育委員会では、経済的な理由等により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、小・中学校にかかる費用の一部の援助を行っています。

援助対象に該当する方は、申請書を提出し、手続きを行ってください。申請用紙は、教育委員会で配布しております。

【援助対象】

伊江村内に住所を有し、村立小・中学校に在籍する児童生徒の保護者で次のいずれかに該当し、教育委員会が認める方

- ①生活保護を受けている方（要保護世帯として認定）
- ②生活保護を受けていないが、次のいずれかに該当する方（準用保護世帯として認定）
 - ・前年度又は今年度において、生活保護の停止又は廃止の措置を受けた方
 - ・病気・災害などの特別な事情により、経済的に生活が困難である方
 - ・世帯全員が村民税非課税の措置を受けた方
 - ・その他生活が困窮している方
 - ・児童扶養手当を受給している方



受付期間 平成28年5月19日(木)～6月10日(金) 【お問い合わせ/伊江村教育委員会 TEL:49-2334】

生活のこと・お仕事のこと、その他相談について新たな窓口ができました

【生活困窮者自立支援制度】

生活で困っていること（生活費・公共料金の滞納・病気等での生活の心配）、就職の悩み事（すぐに働くのが難しい方等含む）、ひきこもりで悩んでいる、住居をもっていない方（または失う恐れの高い方）など、関係機関と協力しながら一人ひとりに寄り添いながら支援していきます。

ご本人・ご家族・お知り合い等どなたからでもご相談可能です。

- 相談日時：午前9時から午後5時（平日）
- 相談方法：来所、電話、訪問
- 場所：名護市大中3-9-1 官公労2階
- 問い合わせ先：沖縄県就労・生活支援パーソナルサポートセンター 北部
TEL：0980-43-0240

消防設備士試験

試験日	平成28年7月10日(日)
試験の種類	甲種(特類、第1類～第5類)、乙種(第1類～第7類)
試験会場	琉球大学
願書受付期間	平成28年6月3日(金)から6月10日(金)まで
願書配布先	各消防本部予防課、沖縄県宮古事務所総務課 沖縄県八重山事務所総務課、消防試験研究センター沖縄県支部

※電子申請できます。詳しくはホームページをご覧ください!!

ホームページ <http://www.shoubo-shiken.or.jp>

【願書提出先・お問合せ先】

(一財)消防試験研究センター沖縄県支部

〒900-0029 那覇市旭町116-37 自治会館6階 TEL:098-941-5201

選挙を知って、未来の投票に備えよう /

18歳からの、選挙が始まります

政治・社会が18歳、19歳の「若者のちから」を必要としています!

平成28年6月5日執行予定の沖縄県議会議員一般選挙での適用はありませんが、平成28年6月19日以降に公示される国政選挙から、選挙権年齢が満20歳以上から満18歳以上に引き下げられます。

少子高齢化、人口減少社会を迎える日本の状況において、日本の未来をつくり担う10代の皆さんのちからが必要とされています。より早く選挙権を持つことにより、若いうちから社会の担い手であるという意識をもって、政治に関心を持つ若者が増えてほしいと期待しています。

1人でも多く投票に参加し、若者の声を政治につなげていきましょう。

「18歳からの選挙権」は2016年6月19日以降に公示される国政選挙から!



みんなでつなごう、沖縄の未来

沖縄県議会議員一般選挙

6月5日(日)

執行予定

※一部の市町村では投票日が繰り上げられる場合があります。
今回の選挙は20歳から!

【投票できる人について】満20歳以上で、選挙人名簿に登録されていることが要件です。なお、市町村間で住所を転移してから、3か月に達しない方は、移転前の市町村の選挙人名簿に登録されていることを確認して、移転前の市町村で投票することになります。(県外へ転出した方は、転出と同時に県議会議員選挙の選挙権を失うので投票できません。)

お問合せ先：沖縄県選挙管理委員会・市町村選挙管理委員会

家電リサイクル品の処分方法について

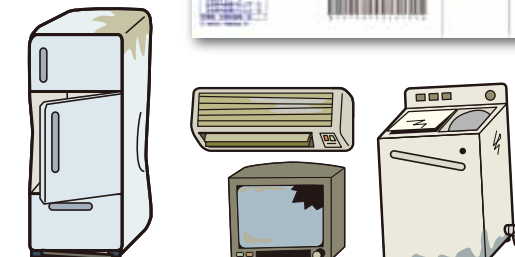
村は家電リサイクル品の収集運搬業務をシートメタル並里に委託しました。家電リサイクル品は次の通り処分することができます。



- ①家電リサイクル券の購入方法
郵便局で「家電リサイクル券」に必要事項を記入し、リサイクル料金を支払う。
※事前に廃棄する家電メーカー、製品の大きさ等の把握が必要です。
※リサイクル料金は廃棄する物によって異なり1,500円～6,000円程度です。

- ②シートメタル並里への持ち込みについて
 - ・家電リサイクル券を未購入の廃家電は受け付けません。
 - ・やむをえない事情により、廃家電をシートメタルへ持参できない場合は直接シートメタルへご相談下さい。
 - ・収集運搬手数料は必要ありません。
 - ・家電リサイクル品の持ち込みの際は事前にご連絡下さい(☎49-5200)

○家電リサイクル対象品
テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、乾燥機、エアコンなど



ユナパチク壕記念碑除幕式

沖縄戦で「集団自決」があったユナパチク壕跡に建立された記念碑の除幕式が4月12日、ユナパチク壕にて行われました。島袋秀幸村長をはじめユナパチク壕の生存者である並里千枝子さんら約30人が除幕式に出席されました。

島袋秀幸村長は「この地で80人余りの人が無念の死を遂げたのは事実であり、戦争の悲惨さを改めて感じることができた。ここで起きた事を忘れてはいけません」と述べました。

並里千枝子さんは「記念碑を建立していただき、感謝の気持ちで胸がいっぱいです。戦争を繰り返してはいけません。戦争でおこった悲劇を後世に伝えていかなければならない」と語りました。



アーニー・パイル慰霊祭

先の沖縄戦により伊江島で戦死した米国の従軍記者であるアーニー・パイルの慰霊祭が4月17日、アーニー・パイル記念碑で行われました。

戦後71年が経過した今回の慰霊祭には、退役軍人会のブラッドリー・リーブス副会長をはじめ、米空軍第18航空団のクリス・アムライン副司令官、沖縄在住の米軍退役軍人会員や村関係者ら約50人が出席しました。

島袋秀幸村長や島袋義範議長、退役軍人ら関係者らが次々と記念碑に献花して追悼し黙祷をささげました。

アーニー・パイルは1945年、従軍記者として戦線を渡り歩き、同年4月16日に伊江島に上陸し、18日の取材中に日本軍の銃弾を受け、伊江島で生涯を終えました。

慰霊祭は、彼が亡くなった4月18日に近い日曜日に毎年行われています。



芳魂之塔平和祈願祭

悲惨な沖縄戦により犠牲となった戦没者を悼む平和祈願祭が4月21日、芳魂之塔で行われました。村内外から遺族や村の関係者らが出席し、午後1時のフェリーの汽笛を合図に全員で黙祷し、戦没者に花をささげ新たに平和を誓いました。

村遺族会の新城孝雄会長は「先の大戦から71年の歳月が過ぎ、我が村でも戦争の体験者が年々少なくなり、あの悲惨な戦争の記憶が風化しつつある。私たち遺族は恒久平和を願い命の尊さを子々孫々へ伝承し、戦争の悲劇を再び繰り返してはなりません」と述べました。

平成12年に建立された芳魂之塔の刻銘板は、現在4280人の戦没者の氏名が刻まれており、毎年追加刻銘も行われています。



伊江島灯台殉職者慰霊式

沖縄戦の激しい空爆により破壊され、灯台職員その家族が犠牲となった伊江島灯台で、犠牲者の御霊を追悼する慰霊式が4月21日、米軍演習地内の伊江島灯台で行われました。第11管区海上保安本部の大根潔本部長をはじめ、遺族や関係者ら約30人が出席しました。当時「東洋一」と称されていた伊江島灯台と隣接する官舎が空爆により破壊され、職員3人とその家族5人が犠牲となりました。慰霊式は、毎年芳魂之塔平和祈願祭の後に執り行われています。



毎年、5月31日は

「世界保健機関 (WHO) 世界禁煙デー」

そして、5月31日(火)～6月6日(月)は「禁煙週間」

この機会「たばこ」について考えてみませんか?

みなさんは「受動喫煙」という言葉を知っていますか。

「受動喫煙」とは、本人が「たばこ」を吸う気持ちがないのに、「室内やその他の場所で他人のたばこの煙を吸わされること」をいいます。

「たばこの煙」には以下の3つの「煙」があります。

①喫煙者本人が吸い込む煙「主流煙」 ②喫煙者が吐き出す煙「呼出煙」 ③「たばこ」の先端から立ち上る煙「副流煙」
「副流煙」は低い温度で不完全燃焼する「たばこ」から発生するため「副流煙」中の有害物質(ニコチン・タール・酸化炭素等)の濃度は、「主流煙」より数倍から数十倍高いことが知られています。そのため「たばこ」は、喫煙者本人だけでなく周囲の非喫煙者(家族や、周囲の人々)の健康にも影響を及ぼすことが広く知られるようになってきました。

自分と自分の大切な家族の為に「禁煙」にチャレンジしてみませんか。

禁煙による具体的な効果を知っていますか?

禁煙直後の効果

その①たばこを吸うことにより収縮していた血管が元に戻り、手足の血行が良くなり、血圧・脈拍・体温が正常になります。

禁煙から2～3日目の効果

その②ニコチンが体内から検出されなくなります。

禁煙から2～3週間目の効果

その③循環器機能が良くなり、歩くのが楽になります。肺の機能は30%も改善。体全体の血液の流れが改善し、お肌ハリとツヤが戻ってきます。

禁煙から5年以内の効果

その④肺がんが死亡するリスクが半分に減ります。

禁煙から10年目の効果

その⑤肺がんの死亡リスクが非喫煙者と同程度に!! もちろん他のがんのリスクも減ります。

まだまだ、いいこといっぱい

母子保健推進員さんの紹介

村で安心して妊娠・出産・育児ができるように子育てを応援する身近な相談者として、各区に母子保健推進員さんがいます。各区の新(旧)メンバーに豊富を語っていただきました。



東江上区 内間 敏子さん
地域のおばちゃん目指して頑張ります!



西江前区 内間 陸子さん
よろしくお願いします。



東江前区 玉城 志津香さん
子どもたちの為に頑張りますのでよろしくお願いします。



川平区 宮里 京子さん
島に住む若いお母さんやお子さんの為に力になってあげたいので、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



阿良区 名嘉山 さとえさん
今年度で3期目!がんばります。



真謝区 井上 博子さん
一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



西江上区 中真 千代美さん
西江上区の子どもの為に頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



西崎区 内間 恵さん
2年間よろしくお願いします。

地域には身近に相談できる人がいます。ひとりで悩まず相談して下さい。医療保健課 TEL49-2234/5000

自主防災組織認定第1号



災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを目的とした自主防災組織の認定証交付式が、4月21日に村役場で行われました。

認定第1号となった阿良区自主防災会の長嶺徳和会長は「阿良区は8行政区の中で一番海拔の低い地域である。日頃からの地域住民とのコミュニケーションや避難訓練、炊き出し訓練を行い、いつ起こるかかわからない地震や津波などの大規模災害に備えたい」と語りました。

島袋秀幸村長は「阿良区自主防災会は、区民の生命・財産を守るという重要な役割を担っている。他の区においても自主防災組織の結成をしていただき、今後は村全体を網羅した避難訓練の実施を行い、災害が発生した際は、行政と自主防災組織が連携を図り、被害を最小限にとどめるよう減災に努めていきたい」と述べました。

青年会総会

第72回伊江村青年会定期総会が4月14日、改善センター中会議室で開かれました。任期を終えた島袋和博さんに代わり、前田誠也さん(前列中央)が会長に選任されました。前田誠也会長は「活気のある青年会活動を通して、島を盛り上げていきたい」と決意を述べました。



議事では平成27年度の収支決算や事業計画などの5議案が承認されました。

婦人会定期総会

「婦人パワーで島を盛り上げよう」をスローガンに、伊江村婦人会(友寄り子会長)の定期総会が4月21日、改善センターホールで開催されました。平成28年度事業計画や予算案などが審議されました。

引き続き4区(西崎、東江前、川平、西江上)による余興が披露され、カラオケやダンスなど工夫を凝らした演出に会場は盛り上がりしました。



平成28年度伊江村老人クラブ連合会総会

伊江村老人クラブ連合会の総会が4月28日改善センターホールで開催されました。平成28年度の事業計画や予算案などの議案が審議され、任期満了に伴う役員改選では、宮里徳宏会長の4期目の再任が承認されました。



総会終了後は浦添市在の高良より子さんの歌謡ショーを楽しみました。

農作物灌水車2台導入

サトウキビをはじめとした農作物の干ばつ対策として整備した灌水車のお披露目式が4月11日、製糖工場敷地内にて開かれました。JAおきなわ伊江支店が農作物灌水車の管理・運営を行います。

島袋秀幸村長は「村とJAが一体になり、サトウキビなどの農作物の生産を拡充させ、品質の向上に取り組んでいきたい」と述べました。

島袋秀幸村長からJAおきなわ経営管理委員会の謝花美義会長と友寄千成伊江支店長にレプリカキーが贈られました。



FM本部 伊江島サテライトスタジオ開局



伊江島の観光情報や行政情報等を発信するFM本部の「伊江島サテライトスタジオ」開局式典が4月1日、はにくすにホールで開かれました。開局式典では、FM本部の島袋恵美子代表取締役をはじめ、関係者ら約80人が出席しました。島袋秀幸村長は「村の行政情報や観光情報などの情報を発信し、地域活性化に繋げていきたい」と述べました。放送は、毎週土曜日午後6時から8時、日曜日は午後4時から6時まで行われます。

パーソナリティ紹介

「なえちゃんのレッツラGO60分」

主婦の目線から微笑ましい愉快な話題をあまふまイジマロを交えて明るく楽しい番組にしたいと思います。また、色々なゲストを招いて村内の情報発信の場にしたいと思います。まさか自分がパーソナリティになるとは夢にも思いませんでした。頑張ります!

比嘉 ナエ子

「ヤースの沖縄・伊江島・島歌の数々」

シマロ、タディンチュロ、大和口を使い、伊江島の民俗芸能や民話及び沖縄民謡を紹介します。また、多くの皆さんをスタジオに招き、村民参加型の番組にします。

内田 竹保

「山ちゃんの伊江島応援番組」

「ちばりよ!伊江島!」を番組のタイトルとし、島人の頑張ってる人々を応援します。島の観光産業の発展を目標に、少しでも何かの役に立てたらと思っています。

山上 直紀

「武田元作なつメロのタベ」

懐かしい歌の数々を流して、皆さまの人生の一部分を懐かしく思い出してもらえたらDJになりたいと思います。

名嘉元 武光

村民参加型の健康増進・スポーツイベント

チャレンジデー 2016

5月25日(水)は、みんなで運動しましょう

「チャレンジデー」とは?

人口規模がほぼ同じ自治体同士が、5月の最終水曜日の午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率(%)」を競い合います。今年で24回目の開催となるチャレンジデーには、全国130自治体が参加し、昨年は全国277万人が参加しました。

伊江村がチャレンジデーに参加する目的

誰もが望む「健康」、でも日々の忙しい生活の中で「健康」を考え、実践し継続することは難しいことです。今年度から村は「チャレンジデー」に参加して、年に1日は村民で運動やスポーツを実践し、健康のための運動習慣の定着化を図り、健康で明るい村づくりを推進していくことを目的としています。

伊江村の対戦自治体は、北海道「知内(しりうち)町」に決定!!

知内町は、人口4,665人の北海道の南端、渡島半島の南西部、津軽海峡に面した町です。農業、漁業が盛んな町で特にニラ、ほうれん草、知内マコガレイ、知内かきは知内ブランドとして知られています。4月中旬に伊江村長と知内町長がエールの交換を行い、互いの健闘を誓い合って対戦に望みます。昨年、伊江村は1,771人(37.5%)の参加がありましたが苦前町に敗れたので、今年は1,900人越え(40%)を目標としていますので、家族ぐるみで参加して気持ちいい汗を流し、初勝利を目指しましょう!



満1歳

お誕生日おめでとう



新保 礼乃颯 (れのか) ちゃん

性別：女
生年月日：平成27年5月4日生
父：新保 礼人
母：新保 鏡乃
行政区：川平
新保家のムードメーカー♡
笑顔をやさしく、しなやかな
女性であれ♪



松田 條矢 (じょうや) くん

性別：男
生年月日：平成27年5月6日生
父：松田 昌太
母：松田 美咲
行政区：川平
あくあく成長しているジョー-ジョー。
心も体もBigな男にな〜れ!!



林 野乃佳 (ののか) ちゃん

性別：女
生年月日：平成27年5月7日生
父：林 省吾
母：林 ゆかり
行政区：川平
ごはん大好きなのちゃん。
たくましく、のびのび育て!



大城 陽仁 (はるひと) くん

性別：男
生年月日：平成27年5月9日生
父：大城 義幸
母：大城 まこと
行政区：川平
愛嬌たっぷり元気いっぱいハッピー♡
明るく思いやりのある子になあれ♡



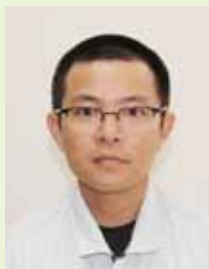
島袋 樹莉 (じゅり) ちゃん

性別：男
生年月日：平成27年5月23日生
父：島袋 宏樹
母：島袋 美沙
行政区：西迄前
丸ごとぜんぶかわいいじゅり♡
見ているだけで幸せ♡
素直で優しく大きくな〜れ!!

固定資産をお持ちのみなさまへ

5月は固定資産税の納付月です
固定資産税の納付はお済みでしょうか。
これからの方は、配布しました納税通知書にてお早めに
納付ください。
※口座振替の方は、再振替日は5月31日(火)に予定して
おります。
《納付場所》農協・漁協・郵便局・ファミリーマート(コン
ビニ)・伊江村役場
《納付期間》平成28年5月31日(火)
お問い合わせ／伊江村役場住民課
税務係 TEL：49-2316

新人さん紹介



か で かる けいた
嘉手苅 佳太 普及員
昭和58年生(32歳)
豊見城市出身
趣味・特技：読書
伊江村の農業振興のために
一生懸命頑張りますのでよろ
しく願いいたします。

職域対抗バレーボール大会日程について

第57回職域対抗バレーボール大会は、
事務局の都合により下記日程に変更に
なりました。
多くの職場の参加を心よりお待ちしております。
期日：平成28年6月19日(日)
場所：伊江中学校体育館
主催：伊江村体育協会(バレーボール部)
※その他詳細は村内放送等により周知いたします。



御寄附御礼

【人材育成会】

- 川平三三九番地
新垣 澤子様より
- 故 夫 新垣和信様 香典返し
- 東江前二二六番地
内田 徹様より
- 故 内田明德様 香典返し
- 西江前一三二三番地
知念 弘和様より
- 退職記念として
- 西江前一六一六番地
小橋川美智恵様より
- 退職記念として
- 東江上二四三番地
知念 恒慶様より
- 退職記念として
- 東江前六三六番地
友寄 恵子様より
- 退職記念として
- 川平四二五―三番地
並里 晴男様より
- 退職記念として
- 西江前三一番地
島田 勝雄様より
- 退職記念として
- 【社会福祉協議会】
川平三三九番地
新垣 澤子様より
- 故 夫 新垣和信様 香典返し
- 西江前一六一六番地
小橋川美智恵様より
- 役場退職記念として
- 東江前六三六番地
友寄恵子様より
- 役場退職記念として

紙面を借りて御礼申し上げます